

臨床研修施設の施設要件(案)

		単独型	管理型	協力型	連携型(案)	研修協力施設
指定	指定施設	指定施設	指定施設	指定施設	指定施設(簡略型申請様式?)	—
人員	常勤の指導歯科医	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	—
	指導歯科医の資格	(1) 7年以上の臨床経験を有する者であって、指導歯科医講習会を受講。都道府県歯科医師会会長の推薦があることが望ましい。 (2) 5年以上の臨床経験を有する者であって、日本歯科医学会・専門分科会の認定医・専門医の資格を有し、指導歯科医講習会を受講。	(1) 7年以上の臨床経験を有する者であって、指導歯科医講習会を受講。都道府県歯科医師会会長の推薦があることが望ましい。 (2) 5年以上の臨床経験を有する者であって、日本歯科医学会・専門分科会の認定医・専門医の資格を有し、指導歯科医講習会を受講。	(1) 7年以上の臨床経験を有する者であって、指導歯科医講習会を受講。都道府県歯科医師会会長の推薦があることが望ましい。 (2) 5年以上の臨床経験を有する者であって、日本歯科医学会・専門分科会の認定医・専門医の資格を有し、指導歯科医講習会を受講。	(1) 7年以上の臨床経験を有する者であって、指導歯科医講習会を受講。都道府県歯科医師会会長の推薦があることが望ましい。 (2) 5年以上の臨床経験を有する者であって、日本歯科医学会・専門分科会の認定医・専門医の資格を有し、指導歯科医講習会を受講。	—
	常に勤務する歯科医	3名以上	2名以上	2名以上	1名以上	—
	歯科衛生士・看護師	常勤換算で、常に勤務する歯科医師と概ね同数(歯科衛生士の配置:必須)	常勤換算で、常に勤務する歯科医師と概ね同数(歯科衛生士の配置:必須)	常勤換算で、常に勤務する歯科医師と概ね同数(歯科衛生士の配置:必須)	歯科衛生士1名以上	—
	研修管理委員会の設置	要	要	—	—	—
	プログラム責任者の配置	要	要	—	—	—
	プログラム責任者の受け持つ研修歯科医	プログラム責任者あたり20名まで	プログラム責任者あたり20名まで	—	—	—
	研修実施責任者	—	—	配置すること	配置すること。常勤の指導歯科医であり、例えば日本歯科医師会生涯研修認定者、臨床教授であり、同一グループ内の協力型からの推薦があること。	配置すること
施設	研修プログラムの期間	原則1年	連続した3ヶ月以上	連続した3ヶ月以上	グループとして連続した3ヶ月以上	合計1ヶ月以内
	入院症例	研修が実施できること	研修が実施できること	—	—	—
	実績(病床を有さない診療所)	2年以上連続して臨床研修の実績があること	2年以上連続して臨床研修の実績があること	—	—	—